

令和 7 年度 杉並区高齢者等実態調査の進捗状況について

次期高齢者施策推進計画（令和 9～11 年度）の策定等に向けた基礎資料とするために実施した、標記調査の進捗状況を報告します。

1 実施期間・対象・回収率等

No.	調査名	実施期間	調査対象	調査票	回収数(回収率)※	集計・分析の主なポイント
1	高齢者実態調査	8/4～9/16	要介護認定を受けていない ① 独居高齢者 2,000 人 ② ①以外の高齢者のみ世帯の高齢者 2,000 人 ③ ①・②以外の高齢者 1,500 人 計 5,500 人	別紙 1 のとおり (75 問)	3,603 人 (65.5%) うち Web 回答 499 人 (9.1%)	○独居などの高齢者のみ世帯とそれ以外の高齢者世帯等別に「暮らしの状況」や「医療・健康状態」、「認知症」、「社会的なつながり」等の設問をクロス集計・分析するなど、多角的な視点からそれぞれの状況や特徴点等を把握する。 ○なお、「補聴器」、「スマートフォンなどの通信機器」、「エネルギー機器の使用」、「終活」等の設問は「2 在宅介護高齢者実態調査」と共通に設定しており、それぞれの集計結果を比較分析する。
2	在宅介護高齢者 実態調査	9/4～10/16	要支援 1 から要介護 5 までの 在宅で介護を受けている高齢者 3,500 人	別紙 2 のとおり (89 問)	2,126 人 (60.7%) うち Web 回答 238 人 (6.8%)	○要介護度別・世帯状況別に、介護保険や在宅サービスの利用状況などをクロス集計し、分析するなど、多角的な視点から、それぞれの状況や特徴点等を把握する。 ○主な介護者に対する設問(問 32 以降)は、老々介護やヤングケアラー等の現状を把握する。
3	特別養護老人ホーム 入所申込者実態調査	9/8～10/20	6 月時点の入所申込者 515 人	別紙 3 のとおり (12 問)	318 人 (61.7%) うち Web 回答 85 人 (16.5%)	○入所申込み時の第 1 次評価が「優先度 A」で、かつ、入所希望時期が「今すぐ」または「3 か月～半年くらい先」と回答した人の割合を算出して、次期計画における新たな特別養護老人ホーム整備の必要性を判断するため、「緊急性の高い入所待機者数の推計に活用する。 ○このほか、「最も入所を希望する施設」や「入所先の施設を選ぶ際に最も重視すること」などの状況や特徴点等を把握する。
4	介護サービス事業所等 実態調査	8/8～9/12	6 月時点の区内全事業所・施設 682 所	別紙 4 のとおり (75 問)	401 所 (58.8%) ※全て Web 回答	○「人材の充足状況」や「人材確保策」、「経営状況」などについて、サービス種別毎及び従業員数の規模別等によりクロス集計・分析し、それぞれの状況や特徴点等を把握する。 ○分析に当たっては、設問の回答を選択した理由等が具体的に記載された内容も参考にする。

※回収数(回収率)は、現時点の速報値

2 今後の主なスケジュール（予定）

- 令和 7 年 11 月上旬まで 回収した調査票の単純集計
- 11 月中旬以降 各調査のクロス集計及び分析
- 令和 8 年 1 月上旬以降 調査報告書の作成
- 3 月下旬 調査報告書の完成（4 月に区公式ホームページで公表）